

令和 7 年度 障害者活躍推進計画に基づく取組の実施状況について

障害者の雇用の促進等に関する法律第 7 条の 3 第 6 項の規定に基づく実施状況を公表します。

■ 評価年度

令和 7 年度

■ 目標に対する達成度

(1) 採用に関する目標

目 標	目 標 値（法定雇用率）	実雇用率
市長部局、教育委員会で合算して当該年度 6 月 1 日時点の法定雇用率以上	2.8%	2.88%

※公務部門の法定雇用率は 3.0% ですが、経過措置により、令和 8 年 6 月末までは、2.8% となっています。

(2) 定着に関する目標

目 標	実 績		
「常勤一般職、会計年度任用職員ともに不本意な離職をさせない」。	(人)		
		採用等	退職等
	常勤職員	1	1
	会計年度任用職員	7	1
	・「採用等」には在職者のうち中途障害者を含む。 ・「退職等」には勤務時間減による算入減を含む。退職理由は任期満了、本人希望。		

■ 取組内容の実施状況

(1) 障害者の活躍を推進する体制整備

(組織面)

- ・サポート体制（障害者雇用推進者、障害者職業生活相談員及び職場適応支

援者の選任)の人事異動による更新及び相談窓口の継続。

(人材面)

- ・前年度に引き続き、令和7年度の「組織内の人的サポート体制」における「障害者職業生活相談員」は、市長部局2名(うち1名は「職場適応支援者」が兼務)と教育委員会1名の合計3名で対応した。
- ・障害者枠採用の新規職員の所属する職場の職員他を対象に「障害者就労の理解向上研修」を実施した。

(2) 障害者の活躍の基本となる職務の選定・創出

- ・配属先の所属長が、障害のある職員との定期面談の実施や人事評価面接等の機会を活用して、職場環境等の状況把握に努めた。
- ・障害者職業生活相談員及び職場適応支援者による障害者枠採用職員に対する面談時に、業務等の状況や本人の意向についての聞き取りを実施した。

(3) 障害者の活躍を推進するための環境整備・人事管理

(職務環境)

- ・継続して、相談窓口を開設した。
- ・「定期的なヒアリング」として、令和7年度入庁の障害者枠採用の会計年度任用職員に本人了承のもと年3回(初期、中期及び後期)の個人面談を実施した。
- ・必要な配慮の把握と必要な措置を行い、個別フォロー(当該職員への助言、就労移行・定着支援組織との連携)を実施した。

(募集・採用)

- ・令和7年4月1日付けで、新たに、障害者枠の会計年度任用職員を7名採用した。
- ・令和7年10月に「ワークスペース むすび」を庁内に開設し、ジョブコーチ付きで勤務する障害者枠の会計年度任用職員を3名採用した。
- ・令和8年4月1日採用障害者枠常勤一般職及び会計年度任用職員の募集を実施し、常勤一般職1名、会計年度任用職員2名に採用予定を通知した。
- ・「職場実習」については、「ワークスペース むすび」において、ジョブコーチ付きの実習を2回(各1名×5日間)実施した。

■ 「目標に対する達成度」及び「取組内容の実施状況」に対する点検結果

- ・概ね計画どおりに実施できた。引き続き、法定雇用率を達成するために必要な取組みと、不本意な離職者を生じさせないために必要な職場環境の整備を進めていく。